

□には、リンクがあります。※は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名	グループホーム あさひ
日付	平成19年3月19日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	① 介護支援専門員・介護福祉士 ② 介護支援専門員・認知症ケア専門員
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業者のコメントを見る (評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります) ※	

<p>講評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>開設して約1年、管理者を中心に職員がひとつになりケアに取り組んでいました。特にこの1月に新しく参加した管理者の下、以前はまだ不十分であった点を自己評価し、赤磐市の保険課にも相談しながら一步一步改善し、努力されている点が目につきました。</p> <p>建物は広すぎず狭すぎず、ほど良い広さの空間で、外からの光も強すぎず、建物の持つ癒しの効果がケアにも繋がっていました。水廻り・トイレ・洗面所など導線がきちんと考えられた設計となっていました。</p> <p>衛生に関してもきちんと管理がされていました。例えば、台所用品・利用者の洗濯物・汚物の洗濯と4台の洗濯機を使い分けていました。</p> <p>職員の利用者に対する接し方や話し方がとても優しく、無理をしない介護が行なわれており、わざとらしい感じでなく自然な対応が印象的でした。</p> <p>職員の認知症に対する思いやりも深く、視線が上からではなく、同じ高さで見え一緒に生活をしているのだと感じました。</p> <p>職員の笑顔が素敵で、特に印象的な施設でした。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>特になし</p>

I 運営理念			
番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
<p>終の住処として利用者が安心して、終末期まで過ごせるように体制を整え、努力をされている。</p> <p>閉鎖的にならないように、職員一同が共に穏やかに生活できるように環境を整え、自然な声かけや対応がなされていた。</p>			

II 生活空間づくり			
番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周や空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
<p>みんなで一緒に生活をするという思いを大切にしていました。</p> <p>職員の声かけが穏やかで、焦りのないケアが入所者の安定に繋がっていました。</p> <p>利用者が混乱しないようにトイレ・洗面所・居室が明確にわかるように職員の手作り掲示がとても可愛く、心和む工夫がされていました。</p>			

III ケアサービス			
番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることに配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

III ケアサービス(つづき)			
番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人の力と経験の尊重やプライバシー保護の為に取り組んでいるものは何か。		
<p>一人ひとりの経験を大切にされたケアを心掛けている。日常生活の中からできることを無理に押し付けるのではなく、その人その人に合わせた対応がなされていた。</p>			

IV 運営体制			
番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
<p>外部への研修にも積極的に参加をし、外部からの情報も得ながら質の向上に取り組んでいる。</p> <p>事業所内でも研修報告書を作成し、必ず伝達をして職員の質向上に努力をしている。</p> <p>苦情やヒヤリハットなど些細な事も必ず報告書として作成し、職員の中だけで処理するのではなく、理事長まで報告が届き、アドバイスや提案を得ていました。</p>			